

Kandai Style

2015.11 Vol.445
関西大学通信



第38回 関西大学統一学園祭

学祭を盛り上げる個性豊かな実行委員を紹介します

130
KANSAI
UNIVERSITY

第38回

関西大学統一学園祭

今年のテーマ
「一祭合祭」

学祭を盛り上げる個性豊かな
実行委員を紹介します

常任委員会

今年のテーマ『一祭合祭（いっさいあつさい）』は関大生「全員」でつくりあげる学園祭にしたい、という意味が込められています。今年は新たな理念として、自己満足にならないよう、来場者目線で企画を立てるようにしました。一人でも多くの方に関大の学祭に来て何かを感じてもらわなければいけないです。私は元来少し強引なところがあつたのですが、昨年社祭の実行委員長を経験し、自分だけで考えるより、一人でも多くの人の意見を聞き、皆でベストアンサーを探したほうがより良い結果につながることを学びました。今年は、700人ほどの実行委員の意見を尊重しつつリーダーシップを発揮して、最後に「本田で良かった」と言つてもらえるよう全力で取り組んでいきたいと思います。

本田祥穂さん（社3）

実行委員長



柳井崇さん（商3）

副委員長

いじ
ム
か
づ
い
が
一
愛
さ
れ
る



サークル祭実行委員会

サー祭は、文化会や学術研究会などの団体が、祭典実行委員会とスムーズにやり取りできるようサポートする役割の部署です。4月に行われる新入生オリエンテーションを主催するメンバーで構成されており、学祭では各々別の局と兼務して活動していますが、皆仲が良く信頼し合っています。僕も相談を受けることが多いです。僕はパンフ局長として、200近い団体を束ねなければいけないのですが、連絡会議やルールを徹底してもらうなど忙い心と度量を忘れないようにしています。

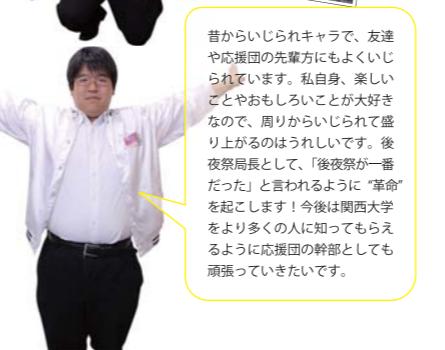
原田光さん（経3）

副委員長



応援団員

いじられキャラの



岸本昌也さん（シス理3）

法学部祭典実行委員会

11月1日（日）～4日（水）

学生コラボ企画第2弾

インタビューしてくれた学生



デザインしてくれた学生



笹倉葵さん（社4）

統一企画構成委員会

統一企画構成委員会のイチオシ企画は、毎年大物アーティストが来るメインのライブですが、今年はコブクロが5年ぶりに凱旋ライブを行います！その他にも、1.2年次生が企画する3大企画、「KU.ROCK FEVER」や「Kandai Dance Festival」、「LAUGH&PEACE お笑い王決定戦」があります。それぞれ、音楽、ダンス、お笑い分野での関大生の頂点を決める大会です。特に「KU.ROCK FEVER」は今年で13回目となる大会で、普段発表の場があまりないアーティストたちがオリジナル曲を演奏します。プロの音楽関係者などが審査する真剣勝負です。3企画ともサークル等の団体だけでなく、個人も巻き込んで盛大に行う予定ですので、皆さんも熱いバトルを生で観戦し、一緒に盛り上がりましょう！

委員長



上口恭平さん（化生3）

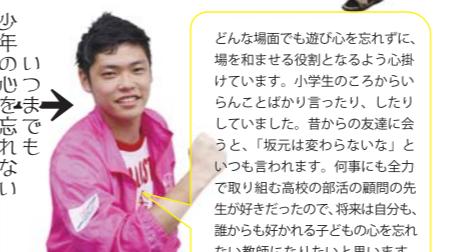
清家嵩人さん（商3）



「学生のうちにしかできないことをしたい」と思い、1年次の春休みに一人でタイとカンボジアにバックパックで20日間滞在しました。タイのバンコクでデモ隊が軍と衝突する事件と遭遇し、少し怖い目にいましたが、日本との違いを感じました。カンボジアで出会った日本人の大学生と意気投合し、今度はその2人と、ヒッチハイクで1週間かけて、大阪から北海道までの旅をしました。ハードでしたが楽しく貴重な経験でした。

文学部祭典実行委員会

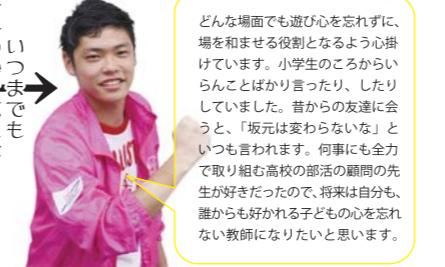
委員長



委員長

少
年
の
い
つ
を
ま
で
れ
な
い

野邊聖一朗さん（文2）



坂元博志さん（文2）

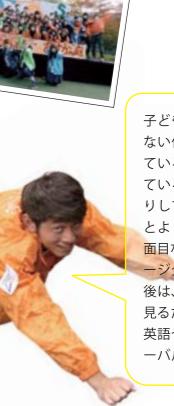
経済学部学園祭実行委員会

あすかの庭で6学部合同の「昔話のその後」のようなコメディ路線の劇などを行います。幅広い年齢層の人に笑ってもらうのがテーマです。第一学舎の食堂で行うイベントでは、法学部らしく海外の法律に関するクイズを行います。関大130周年に向けて、より多くの人に関大を端から端まで知つてもうらういたいです。法祭はクセの強いメンバーが多いと言われているのですが、委員長として各自の意見をまとめて、引っ張っていく予定です。

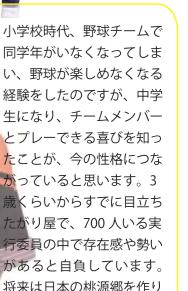
委員長



小寺喜裕さん（法2）

笑
し
い
ユ
ニ
ー
ス
を
追
求
な

松本恭輝さん（法2）



子どものころから感情が顔に出ない体質なので、自分でほけているつもりでも、眞面目で言つていていため、後輩に怖がられたりしています。シールな笑いとよく言われます。実は根が眞面目なので、あすかの庭のステージ企画として力を尽くした後は、「世界の色々な景色を生で見るため、留学を考えています。英語や仏語を学び、将来はグローバルに仕事をしたいです。

経済学部学園祭実行委員会

今年の経祭は来場者を巻き込んだステージ企画を多数用意しています。観た方に感動を味わってもらえるような最高のステージにします。また、ステージ外企画は3部屋を使った脱出ゲームを企画しており、幅広い年齢層の方に楽しんでもらいたいです。来場者の皆さんに笑顔で帰つてもらえるように、またその笑顔を見て実行委員の皆さんに達成感・充実感を味わってもらえたうれしいです。3、4年次生からアドバイスをもらうなど、年次を超えた交流が経祭の自慢です。

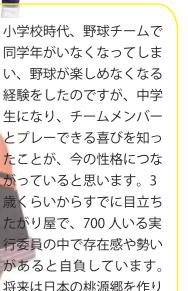
委員長



南方優人さん（経2）



山本将太さん（経2）



小学校時代、野球チームで同姓の人がいなくなってしまい、野球が楽しめなくなる経験をしたのですが、中学生になり、チームメンバーと一緒にプレーできる喜びを知ったことが、今の性格につながっていると思います。3歳くらいからすでに目立ちたがり屋で、700人いる実行委員の中で存在感や勢いがあると自負しています。将来は日本の桃源郷を作りたいともくろんでいます。

第38回

関西大学統一学園祭

今年のテーマ
いつさいがっさい
「一祭合祭」

学祭を盛り上げる個性豊かな
実行委員を紹介します

11月1日(日)~4日(水)

学生コラボ企画第2弾



実行委員会集合写真



商学部祭実行委員会



今年はステージ企画を4つ準備していますが、特にイチオシは毎年盛り上がる「ねるどん」企画です。3年次は5人補佐として残るのですが、2年間の活動があまりにも楽しかったので、推薦もあり残りました。学祭前は近所のアパートの1室を借り、共同生活をしながら進めています。商祭はとにかく元気がよく、何でも「とりあえずやってみる!」という行動力が売りです。今年は最後の年になるので、自分も後輩も悔いが残らないようにしたいです。

重神竜人さん(商3)
佐々木慎一郎さん(商2)

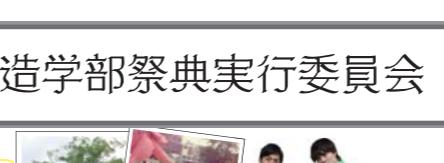
社会学部祭実行委員会



ステージ外局の企画は今年芝生で記念写真が撮れる、休憩できるスペースを考えています。人がたくさん集まっている場所に残る友人がいるので、友人あっての自分だと思います。中1のころ、2ヶ月NZに留学したときに、全然英語が分からなかったのですが、必死でエスチャーナーなど伝え、伝わるものだと実感しました。将来は海外でも通用する人材になりたいと思います。

久保俊一郎さん(社2)
矢部圭亮さん(社2)

政策創造学部祭典実行委員会



今年のステージ企画は「劇」を目指しています。昨年は人数的に難しかったので、初めての挑戦です。委員長となったことで「メンバーの手本になると掛け、不景気をやめて授業や日常生活も見直し、頑張っています。今年の祭典は男女比がちょうどよく、学年、性別関係なく、とても仲が良くて、プライベートでも自然に集まっています。集まるといつも「どうすればもっと政祭が良くなるか」を話し合って、団結していると感じます。

辻俊一郎さん(政策2)
志水友亮さん(政策1)

人間健康学部祭典実行委員会



今年の教室企画は「人さし」と題したスタンプラリーです。キャンパス内に点在している特徴ある5人を探しながら、学祭をいろいろと見学してスタンプを集めもらいます。去年は27人だった人祭の実行委員が今年は48人にも増えたのですが、男女の区別なく皆仲が良く、ノリの良さが特徴です。5月のキャンバス祭では、全部一人でやろうと気負ってしまったところがあったので、統一学園祭では、頼りになるメンバーに任せ、皆で盛り上げていきたいです。

畠中春佳さん(人2)

大村海さん(人2)

総合情報学部祭典実行委員会



今年のステージ企画は「情祭心靈研究所」です。怪奇現象や心霊現象等を現代科学の観点から解明したり、語り手による怖い話をしています。ステージ外(教室)企画は「宝当てゲーム」と「ブチカフェ」です。「ブチカフェ」は学部の特色を生かした映像を使った演出をする予定です。62人の実行委員は、それそれが何か一つ光るものを持っていて、私は情祭がとにかく大好きです。委員長として、全体を把握し、周囲に目を向けられるよう頑張りたいです。

松田果穂さん(情2)

中田雄志さん(情2)

社会安全学部祭典実行委員会



今年のステージでは拾った人がモテる「モテナート」という企画をします。ステージ外企画では、社会安全学部らしいを生かして女性なども取り入れた少し奇妙な「脱出ゲーム」を行います。去年の先輩方のように、私も学祭が終わったら、やりきった感で泣いてしまうくらい、全力で取り組み、後悔しない、させない安祭にしたいです。あまり一般の人になじみのない学部なので、この機会に学部のことを知ってもらいたいので、ぜひ足を運んでください。

祐本莉菜さん(安2)

小池彩加さん(安2)

理工系学部祭実行委員会



今年のキーワードは「残る」工祭。「記憶」にも「記録」にも残るよう精銳68人の実行委員が尽力しています。ステージ外では毎年理系の特色を生かした企画をしていて、今年は流行の「Ooho(オオホ)」を予定しています。また教室企画で今年も「お化け屋敷」をするのですが、学生が仕掛けから迷路まで全て手作りします。「委員長になったからには力いっぱいやろう!」と決心し、実行委員の皆と工祭を成功させるため頑張っています。

杉森尚輝さん(化生2)

平野晃史朗さん(環都1)



Singer-Songwriter

音楽業界／シンガーソングライター



寺前未来さん

2004年社会学部卒業

音楽は仕事と言うより、
人生そのもの。
自分らしさを大切にマイペースで
歌い続けます。

凛としてナチュラル。それが、シンガーソングライター寺前未来さんの第一印象です。その存在感は、柔らかで透き通る歌声から紡ぎだされる彼女の歌の世界そのまま。

幼いころからバレエを通じて表現する喜びや音楽に親しんできた寺前さんですが、歌を始めたのは大学に入学してからでした。軽音サークルgrooveがまだメンバーも少なかったころ、勧誘チラシに描かれたウサギのイラストに魅かれ入会し、初めて本格的に歌と作曲を始めました。早速、学園祭のカラオケ大会に出場すると、堂々、優勝したというのですから、天賦の才だったのでしょうか。

現在、寺前さんは関西でのライブを中心に活動。コンピレーションアルバムへの参加やTV-CM、今年行われた特別区設置住民投票でも楽曲提供をするなど活躍しています。セルフプロデュースで全てをこなすため、大変な面もありますが、さまざまな挑戦の中で支えてくれる人たちも増え、今はその人脈から協力を得て、ライブイベントの企画運営などをしているそうです。

文章を書くことに憧れ、大学ではマスコミ専攻だった寺前さん。「今思えば、文章を書く究極の形が作詞でした」。シンガーソングライターの道を選んだ彼女は「オリジナルの曲を聴きたいと思ってもらえることは奇跡」と話し、先輩として「大学時代にしかできないことはたくさんあるので、やりたいことはやり切ってほしい」と笑顔でメッセージをくれました。

ライブのある
1日の
スケジュール例

朝から	家事など、ゆっくり過ごし、 ライブへ向けて精神を高めていく
15:30	ライブ会場入り リハーサルと音響の確認 発声や体を温めるなど ライブの準備
18:30	開場
19:00	ライブスタート ライブ終了後(噴霑など) 後片付け
21:30～ 23:00	帰宅



ギターのピックやチューナー、マイクとその周辺機器などは寺前さんの弾き語りライブには欠かせない必須アイテムです。



経済学部

「経済学演習3」

良永康平 教授

低炭素で持続可能な環境経済・社会を研究、考察する。

合宿で交流を深め、密度の濃い「学び」を実践。

経済学の観点から環境問題を考える。

地球環境問題を研究対象とした良永康平教授のゼミではエネルギーと地球温暖化、廃棄物とリサイクル、食を巡る環境、水の循環と酸性雨、生物多様性など環境にまつわる多くの問題を考察していきます。例えば、日本のCO₂排出量・原発が地球温暖化への対策となりうるのか・排出権取引やクリーン開発メカニズムとはどんな方法か・再生可能エネルギーとは・リサイクルは本当に有意義なのか・レアメタルとはどのような金属で、どんな意義を持つのか・水循環の保全上、日本の森林は正常に機能しているのか・日本の食生活の環境への影響・生物多様性の危機が及ぼす我々の生活や経済への影響について、などがその具体的な課題です。

2年次のゼミは環境経済・社会の基礎的な知識を学ぶため、理解しやすい文献や、DVDなどを用いた授業ですが、この「経済学演習3」は書物などから知識を得るといった受動的な学習だけにはとどまりません。特定の環境テーマを題材として、実際に自分たちで調査、取材した上で考察・研究します。グループに分かれた学生たちは国や企業などの取り組みについて熟考し、議論を重ね、自分たちの意見や提案を加えて、起承転結のシナリオを作り、発表します。ゼミ生の意見がまとまれば秋の学内ゼミ大会や関西プロック大会などにも出場。その結果、過去8年間で実に4回も優秀な成績を収めています。

本ゼミは学生の要望から始まったという、関西大学の持つセミナーハウスを利用した合宿が一番の特長です。「環境は外にある」と、キャンパスから合宿へ。寝食を共にし、議論や意見交換で交流を深めます。議論が白熱すると朝まで話し合うこともあるのだとか。こうした濃密な学びや学生同士の関わりから、自主性、プレゼンテーション能力やディベート力などを修得。内容が濃い故に外部からはシビアで厳しく映りがちだという良永ゼミですが、ゼミ生たちはその中で、楽しみながら大きなやりがいを見出しているようです。



川上就平さん(3年次生)



お互いに切磋琢磨できる同じ志を持つ人間が集まっているのがこのゼミです。熱中することが見つからず今の生活に疑問を持っている人など、やる気があるなら、ぜひ、このゼミでいろんなことを学んでほしいと思います。



日和崎真帆さん(3年次生)

自然が豊かな地元では環境活動に参加していましたが「環境と経済」という言葉やつながりに興味を持ちこのゼミを選びました。ゼミくらい「ガチ」でやりましょう。学生生活で心に残るようなゼミになれば素晴らしいことだと思います。

経済学部

良永康平 教授

何よりもやる気が第一なのがこのゼミです。ゼミ生の選考はそれまでの成績より本当に環境に興味があるかを重視し、募集要項の作文で判定します。学生には将来、このゼミで培った積極性で、社会に出てからも任せられた仕事に責任を持ち、率先して仕事と向き合う人になってほしいですね。



なるほど・ザ・関大!

関西大学のキーワード集

来年11月の創立130周年に向けた関西大学のキャッチフレーズは「この伝統を、超える未来を。」です。

伝統に基づく自信と、未来に向けた変革の決意を表現したものですが、1世紀を超える歴史の中で、

それぞれの時代の流れを背景に、さまざまな理念やモットーが紡ぎだされました。

それをひもとき、本学の歴史の断面をのぞいてみましょう。

この伝統を、超える未来を。

【この伝統を、超える未来を。】

創立130周年記念事業キャッチフレーズ

この伝統を、超える未来を。



【学の実化(じつけ)】

1922(大正11)年に山岡順太郎総理事兼学長が提唱した指導理念で、本学の学是。「学理と実際の調和」「国際的精神の涵養」「外国语學習の必要」「体育の奨励」の4つで、従来のアカデミズムに飽き足らず、実際に役立つ知識を大学で教えることを求めました。

山岡順太郎先生



【関大ルネッサンス】と 【関大アカデミア】



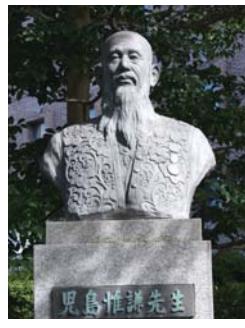
岩崎卯一先生

1947(昭和22)年5月に就任した岩崎卯一学長が掲げたキャッチフレーズ。終戦直後の関大再建を目指した標語で、「真理の探究」に重点を置き、学生たちの目を大きく世界に見開かせるものでした。岩崎学長は翌年さらに「関大アカデミア」という標語を掲げます。左右両翼の思想が激突する時代に、「古典に親しみ、基礎的な教養を身につけよ」と静かに学生に語りかけました。

【正義を権力より護れ】

本学創立に関わった児島惟謙(こじま これかた)は1891(明治24)年の大津事件の際、大審院長として司法権の独立を守ったことで有名です。その思想と行動から導き出されたこの言葉を、戦後、岩崎卯一学長は本学の学風の根幹と位置付けました。

児島惟謙先生



【強い関西大学】

現在のスローガンのひとつです。2008(平成20)年に策定した長期ビジョンで掲げた目標『「知」の世紀をリードし、新しい「公共」を創造する力漲(みなぎ)る21世紀型総合学園』をシンプルに表現しています。創立120周年の社会貢献事業として建設された高槻キャンパスのアイスアリーナにも大きく掲げられています。



文学部3年次生 梅谷奈々さん

再び始めたバレエが、夢を後押ししてくれます。

幼いころ、とにかく音楽が聞こえてくると自然に体を動かしていたという梅谷奈々さんがバレエ教室の門をくぐるのは、ごく自然なことでした。小学生の間はクラシックバレエに没頭して過ごしましたが、中学生の時、先生とのささいな行き違いから一時期バレエから遠ざかり、バレエとは関係のないダンスをしていたと言います。一緒にレッスンに通っていた妹さんはその間もバレエを続けており、内心うらやましく思っていたそうです。バレエから距離を置いて6年ほど経ったころ、梅谷さんのバイト先に偶然バレエの先生が訪れたことがきっかけで、再びクラシックバレエの世界に戻ることになりました。

現在、梅谷さんは、週2回バレエ教室に通い、1回はレッスンを受け、もう1回は幼稚園児から小学校3年生までのキッズクラスを指導しています。子どもたちに教えるのは基礎的なテクニックですが、技術について理解を深め、バレエ用語であるロシア語の単語を勉強するなど頑張っているそうです。バレエ教室では年1回発表会があり、衣裳や舞台の構成、費用、配役のことなど、保護者の方々

と打合せを重ねて進めますが、保護者の方は子どもの役柄について、レッスン生は衣裳の形や色について、それぞれにこだわりがあるので、理解し納得してもらうのに苦労するのだとか。そんな中、発表会で主役に抜ききされた梅谷さんは、子どもたちの指導をしながら、自分の踊る演目のレッスンも同時にこなさなくてはなりません。「このバレエ教室で、誰もが経験できるわけではないことを経験できました」。そう話す梅谷さんの将来の希望は、高校の日本史の教諭、そしてダンス部の顧問になること。「子どもたちに指導することで学んだことがたくさんあるので、将来、生かしていきたい」と、今は毎回のレッスンを自分が思い描く先生像を目指し、意識しながら吸収していくこうと思っているのだと言います。「以前は教えることが下手だったけれど、今は成長したと自信を持っています」。長く続けているアルバイト先でも新人を教える機会が増え、そこでは人の個性を尊重し「いい部分」を引き出すことを学びました。バレエのレッスンも、アルバイトも、全てを無駄にすることなく、梅谷さんは一歩ずつ着実に夢へと近づいているようです。



昨年度のバレエ発表会

演目は『眠れる森の美女』。梅谷さんは金の精として「ヴァリアシオン」を踊りました。

次回(12月号)は、梅谷奈々さんからの紹介でストリートダンスサークル(Soul Beat Crew)で代表を務めている日下諒さん(法3)が登場。お楽しみに!



Nana Umetani

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

もう一つの「学祭」

11月、皆さんが心待ちにしているのは、何といつても学園祭でしょう。さまざまな展示、模擬店、音楽、ダンスなどで大いに盛り上がってほしいものです。ところで法学部には、もう一つ別の「学祭」があります。今年で第4回目を迎える、法学部政治学系ゼミ研究報告会のことです。学生が主体となってゼミ内での普段の研究成果を発表し、教員も交えて活発な議論が展開されます。学問の祭典。まさにこれぞ眞の「学祭」! 今年は11月18日(水)午後に千里ホールで開催です。誰でも参加可。乞うご期待!

(教学主任 坂本治也教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

アデレード研修を開催

例年通り今夏もアデレード大学における海外語学研修を実施しました。9年目となる今年は16人の学生が参加し、語学研修に加えて、環境問題を題材としたセミナーと講義を履修して無事帰国してきました。この経験をバネとして、より長期の留学を目指してほしいと思います。

(三枝憲太郎准教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

ローマ大学で院生フォーラムを開催

第7回目中意院生フォーラムが今年度もローマ大学(サピエンツア)で開催され、本研究科から10人の院生が参加し(ローマ大学の院生および教員と併せて総勢20人)、文化交渉学に関わる研究発表を行いました。なお、本フォーラムでの使用言語は英語(質疑応答だけは中国語も可)ですが、参加した院生は言語の障害も全くなく、まさにグローバル時代にふさわしい学術交流となりました。(東アジア文化研究科 内田慶市教授)

経済学部／経済学研究科

真夏の上海プログラム

今夏、経済学部では上海復旦大学プログラムを実施しました。復旦大学での学生交流の後、現地のハウス食品で学生たちの集合写真
右端: 羽子田礼秀社長、中央: 佐々木信彰教授
上海ハウス食品で学生たちの集合写真
右端: 羽子田礼秀社長、中央: 佐々木信彰教授
地のハウス食品、ヤクルト、メレック、TOMS、浙江佳人新材料等の日系企業、上海コンテナ港、浦東開発区などを精力的に訪問し、参加学生は大きな収穫を得ることができました。(佐々木信彰教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

BLSP(ビジネスリーダー特別プログラム)

BLSP(ビジネスリーダー特別プログラム)は、今年で6回目となる「海外ワークショップ」をワシントン大学ビジネススクールと提携し実施しました。講義受講、企業訪問(スター・バックス本社訪問等)だけでなく、参加学生31人が春学期に調査・研究した内容を同大学、マイクロソフト本社において発表しました。これらの経験を通して、学生達は英語力だけでなく、人間的にも大きく成長しました。次年度以降はこれまでの実績を基にプログラム内容を見直し、さらに発展した教育プログラムにしていきます。

(西岡健一准教授)

社会学部／社会学研究科

第3学舎改修が進行中です

昨年度始まった第3学舎の改修は、今年度も着々と進行しています。夏季休業中には集中的に省エネ工事が行われ、多くの教室・研究室の照明がLEDに交換されました。2号館1階の音楽スタジオも改修が進んでおり、高い防音性を備えた新設備が入る予定となっています。また、3号館階段の外側にはエレベーター(地上階から5階まで)が新設されることになりました。授業期間中も、授業に支障のない範囲で工事は続きます。立入禁止エリアなどご不便をおかけしますが、皆さんのご協力をお願いします。(教学主任 杉本舞准教授)

専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

創設10周年シンポジウム

会計専門職大学院の創設10周年を記念して、7月11日にシンポジウム「会計専門職教育の課題と展望」を開催しました。第1部では、公認会計士関大会前会長の山田拓幸氏、企業の立場から客員教授の島崎憲明氏が会計専門職教育への期待を述べるとともに、本学の取り組みと抱負を三島徹也研究科長が報告しました。

第2部の討論会では、パネリストの島崎客員教授、三島研究科長、玉置栄一特任教授と、多数の聴講者による活発な議論が行われました。

(入試主任 大西靖准教授)



併設校トピックス

関西大学北陽中学校

中3中大連携プログラムを実施

千里山キャンパスで9月17日、関西大学北陽中学校3年生が中大連携プログラムを実施しました。北陽中学校が模擬裁判風景を取り組むプログラムは、併設校であるスクールメリットを生かし、生徒に応じた体系的な大学との連携プログラムを実施することで幅広い学びを提供し、将来へのあらゆる可能性を示すものです。今回は、初めての試みであり、法科大学の大仲土和先生をはじめ、永榮久仁子先生、太田洋一先生の協力のもと、模擬裁判および評議から事前学習の講評と、多くの学習を支援していただきました。生徒たちは、興味深く多くの事例や質問を先生に投げかけ、積極的に充実した一日となりました。

(北陽中学校教頭 川崎安章)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

理工系3学部・理工学研究科における国際化

現在、本学ではさまざまな国際化に関する取り組みが行われていますが、今回は理工系3学部および理工学研究科での取り組みの一部をご紹介したいと思います。毎年アジア圏の協定大学との共催で「International Symposium in Science and Technology」を開催しています。10回目となる本年は、8月31日からの3日間、タイ王国の首都バンコクにあるチュラロンコン大学とタマサート大学にて開催されました。本学理工系3学部・理工学研究科からは教員20人、学生37人が参加し、その他マレーシア、台湾、ミャンマー等からの参加者157人とと共に、Materials and Chemistry、Life Science、

IT and Electric、Civil Engineeringの各分野に関して57件の口頭発表と84件のポスター発表での熱い議論やアユタヤ遺跡へのエクスカーションを通じて、深い交流がなされました。

またこの度、理工学研究科としては初めて、ドイツのギーセン大学(Justus-Liebig-Universität Gießen)とダブル・ディグリープログラムに関する協定を結びました。ギーセン大学は、1607年に創立されたドイツ語圏で最も歴史のある大学の一つで、創立当初から科学分野の研究に力を入れている大学です。今回の協定により、本学とギーセン大学の双方から修士号の学位を取得できるようになりました。これらを機に、さらに国際共同研究や交換留学の機会が増えることが期待されます。皆さんも、これらの機会を積極的に利用しましょう。

(システム理工学部入試主任 田地川勉准教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

「関大防災Day 2015 ~広がれ!みんなの安全・安心~」を実施します

11月13日(金)、学生・教職員が参加する大規模な地震避難訓練を行います。地震避難訓練や安否確認訓練以外にも、日本赤十字社による防災講演会(千里山キャンパス)やさまざまな防災体験イベントが盛りだくさんです。積極的に参加し、防災について考える機会にしましょう。

1.【日時】

平成27年11月13日(金)
11:40~16:10(雨天決行)

2.【実施対象者】

関西大学キャンパスの学生・教職員・近隣住民等

3.【対象キャンパス】

千里山・高槻・高槻ミューズ・堺各キャンパス

4.【主な実施内容】

①地震避難訓練(11:40~12:10)

授業中に地震音が放送され、授業担当者が各避難場所まで誘導を行います。避難場所で安否確認シートの記入を行います。

また、学生・教職員に対して「緊急連絡メールシステム」※による、安否確認も併せて実施します。

②防災講演会「巨大地震への備え~大切な人のいのちを守る~」

(14:40~16:10)

会場: マルチメディアAV大教室(千里山キャンパス尚文館内)
日本赤十字社大阪府支部 中川俊彬氏による講演を行います。



昨年度の様子

○千里山キャンパス実施イベント

- (1) 炊き出し訓練 (2) 煙体験ハウス
- (3) 避難器体験 (4) 消火栓・消火器体験
- (5) 応急処置体験 (6) 浸水時ドア開閉体験
- (7) 防災啓発ブース (8) 吹田市危機管理室の取り組み紹介
- (9) 防災講演会 など

○高槻・高槻ミューズ・堺キャンパスのイベントにつきましては、実施内容・時間が異なります。詳細はインフォメーションシステムで確認してください。

*お問い合わせ

インフォメーションシステムへのメールアドレスの未登録またはメールアドレスの変更を反映されていない方は、訓練時に連絡メールが届くよう、訓練の前日までに登録・更新にご協力願います。

関大トピックス

マルチリンガル・イマージョン学習スペース (Mi-Room)を活用しよう

総合研究室棟1階にある「マルチリンガル・イマージョン学習スペース(Mi-Room)」は外国語による異文化コミュニケーションを身近に体験することで、グローバル意識を高め、将来的な留学や外国語を活用した就職・進路を実現するための支援を行う空間です。

6月18日にはプレオープニングイベントを開催。秋学期はショートムービーを見て英語でディスカッションを行う「Film Discussion in English」や、身近なトピックス・最新のニュースについて語り合う「Discussion in English」、TOEFL・TOEIC戦略が立てられる「英語テストセミナー」や「英語発音クリニック」、「語学学習・留学のアドバイシング」とさまざまなプログラムを行います。10月9日に行われた「Discussion in English」のテーマは「Refugee(難民)」について。受入国で生じるであろう「pros/cons(良いところ悪いところ)」に関して、集まった学生たちは思い思いの意見を真剣に述べていました。

季節ごとにスペシャルイベントも予定しています。留学を目指す人、留学から帰ってきた人、語学学習に興味のある人など、皆さんの参加をお待ちしています。

Mi-Room Facebookページ [facebook.com/miroom.ku](https://www.facebook.com/miroom.ku)



10月9日に行われた
Discussion in Englishの様子

関西大学ビジネスプラン・コンペティション 「KUBIC2015」本選会を開催

千里山キャンパスで10月3日、商学部が主催する国内最大級のビジネスプラン・コンペティション「KUBIC2015」本選会を開催しました。この大会は、全国の大学生や高校生が発案したベンチャービジネスプランを競い合うコンペティションで、2006年に始まり今年で10周年を迎えました。

当日は、合計1,742件の応募の中から、本選出場を果たした計10組(高校・高等専門学校の部から5組、大学・大学院・一般の部から5組)の発表者がそれぞれ考え出したビジネスプランを発表。高校・高等専門学校の部、大学・大学院・一般の部ともに優勝と準優勝、優秀賞が決定し、本学商学部teams(西山遼太郎さん他3人)の「unite~マイレジ」という発想~が大学・大学院・一般の部の優勝に輝きました。また、学校賞・企業賞・KUBIC特別賞・アイデア賞受賞者の表彰式も行われました。

「KUBIC2015」を運営する学生実行委員会の代表、倉田幸季さん(商3)は、「大学に入って何かをやり遂げたい、自分を変えたい」と思い所属した実行委員会。代表という立場に立ち、組織をまとめる難しさを実感しました。どんなに辛くても常に笑顔で頑張った甲斐もあり、メンバーからも感謝され、本選会を通して大きな達成感を得られました」と、本大会を振り返りました。



KUBIC学生実行委員会



関西大学商学部teams発表の様子 表彰式の様子

体育会なぎなた部が躍進しています

8月9日に山口県立下関武道館で行われた第54回全日本学生なぎなた選手権大会において、体育会なぎなた部の林田智笑さん(人3)が、試合競技(個人の部)で2位に入賞。試合競技(団体の部)で本学が3位、公開競技(男子団体の部)で優勝、公開競技(男子個人の部)で石橋立成さん(政1)が3位入賞を果たしました。また、9月27日から29日に和歌山県・九度山文化スポーツセンターで行われた第70回国民体育大会(紀の国わかやま国体)のなぎなた競技成年女子試合で、同部の林田さん(大阪府代表)が準優勝しました。体育会なぎなた部は2013年に創部50周年を迎えた伝統あるクラブで、2013年全日本学生選手権大会において創部初の団体優勝を成し遂げ、躍進を続けています。



写真は第34回関西学生なぎなた選手権大会のもの 左:林田さん

(写真提供:関大スポーツ編集局)

「進学ブランド力調査2015」で、本学が8年連続 関西エリア志願度第1位

株式会社リクルートマーケティングパートナーズが実施した、「進学ブランド力調査2015」において、本学が関西エリアの「志願したい大学ランキング」「知っている大学ランキング」で第1位になりました。なお、「志願したい大学ランキング」においては、8年連続で第1位を獲得しています。

この調査は、関東・東海・関西エリアの高校に通っている2016年3月卒業予定者74,000人を対象として実施されたものです。

関大人 四方山話 ◆「かんさい・大学ミュージアムネットワーク」博物館事務室 石立弥生子 事務長(博物館学芸員)



平成25年度に関西大学博物館が事務局になって、「かんさい・大学ミュージアムネットワーク」を結成した。現在、大阪、滋賀、兵庫、奈良、和歌山の16大学17館が参加している。17館全ての足並みがそろっているわけではない。でも、できるところから、できるものが活動する。相互にライバルであるが、ちょっとした言葉がアイデアの源であったり、悩みを共有できたりと、実はこのネットワーク、かなり良い。

「人(学芸員)」「物(展示品)」「器(博物館施設)」、それぞれ出し合って、4月に本学で、その後7月に大阪大谷大学で展覧会を開催した。課題は山盛りだが、今後の展開に向けての種(タネ)がいっぱいいまかれた。

ちなみに京都では、京都市内の14大学15ミュージアムの「京都・大学ミュージアム連携」が先に活動を始めている。「かんさい」と「京都」で連携事業をやろう、との声もあって、いま、大学ミュージアムが面白い。

編集後記

摂津峠の紅葉が色付き始めました。秋ですね。関大の秋といえば「学園祭」。拡大版特集では、誌面作りに参加くださった4人の学生さんと共に学園祭特集をお届けします。実行委員の皆さんのお意気込みをお楽しみください(関大誌上教室はお休みをいただきました)。◆「なるほど・ザ・関大」では、創立130周年を迎える関大の伝統をキャッチフレーズで迎ってみました。この伝統を超えて未来へ!◆先月号から表紙のデザインが一新されました。お気付きですか? ご意見・感想は広報課まで。

(広報委員・総合情報学部准教授 西田晃一)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日: 2015年10月28日(年9回発行)
発行: 関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話: 06-6368-1121(大代表)

今月の表紙

第38回関西大学統一学園祭 実行委員長・副委員長の皆さん

千里山キャンパス悠久の庭にて撮影

※表紙写真を募集します。

本誌12月号の表紙は、関大生の皆さんから素敵な写真を募集します。詳しくは、インフォメーションシステムのお知らせをご覗ください。